

Euglena Group

2026年12月期第2四半期決算説明会

株式会社ユーグレナ
東証プライム市場（証券コード：2931）

2026.08.19

【留意点】 本資料は百万円未満を四捨五入して記載しているため、決算短信記載値（百万円未満切り捨て）とは一致しない場合があります。
【免責事項】 本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません。これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります。

本日のハイライト

ユーグレナ社は進化しました！

これまで

『良い会社だけど、赤字』

社会性◎

将来性◎

収益性×



現在

『黒字で、強い会社』

社会性◎

将来性◎

収益性◎



黒字体質を土台に、成長フェーズへ

収益基盤の安定化を背景に、新たな成長に向けた挑戦に注力

ヘルスケアの オーガニック成長



バイオ燃料 商業化の確度上昇



藻類入り肥料・飼料 の導入事例拡大



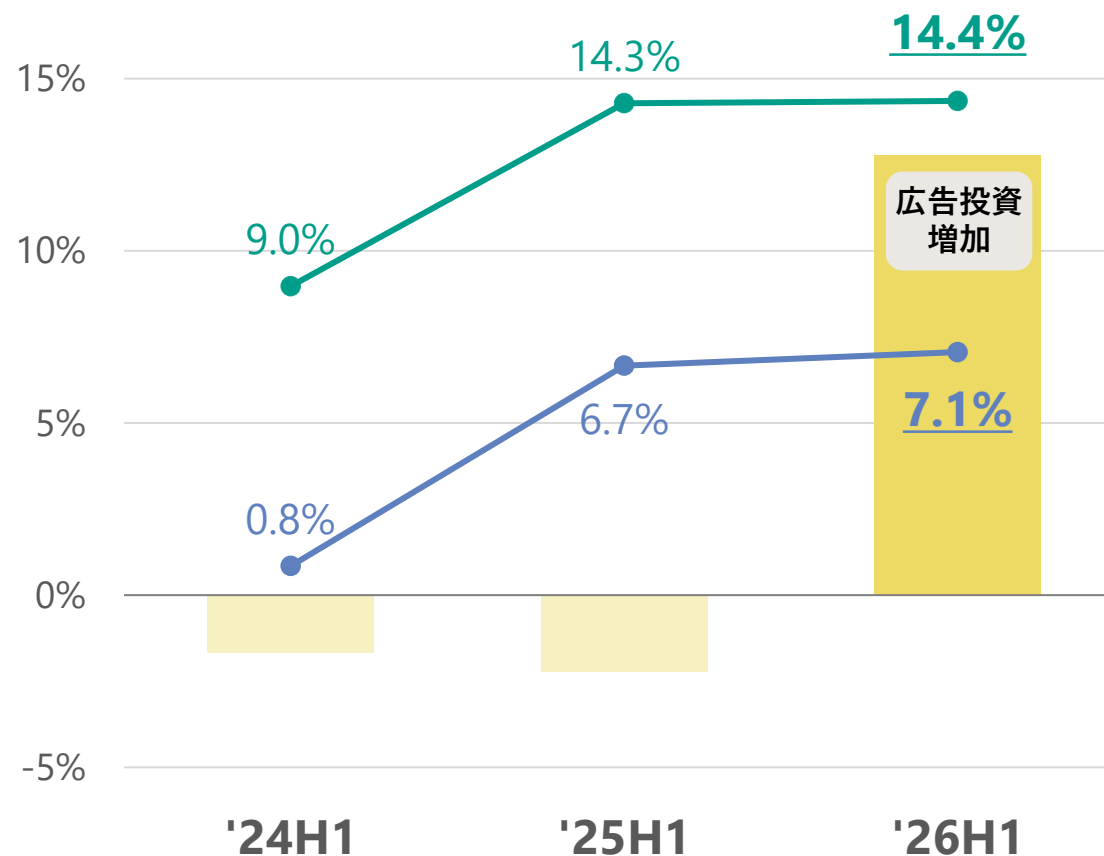
2026年12月期第2四半期決算サマリー

広告投資と利益率

広告投資を拡大しつつ
利益率は維持・改善

“守りの黒字化”から、
“攻めの黒字体質”へ

■ 広告宣伝費増減率(YoY) ● 調整後EBITDAマージン ● 営業利益率



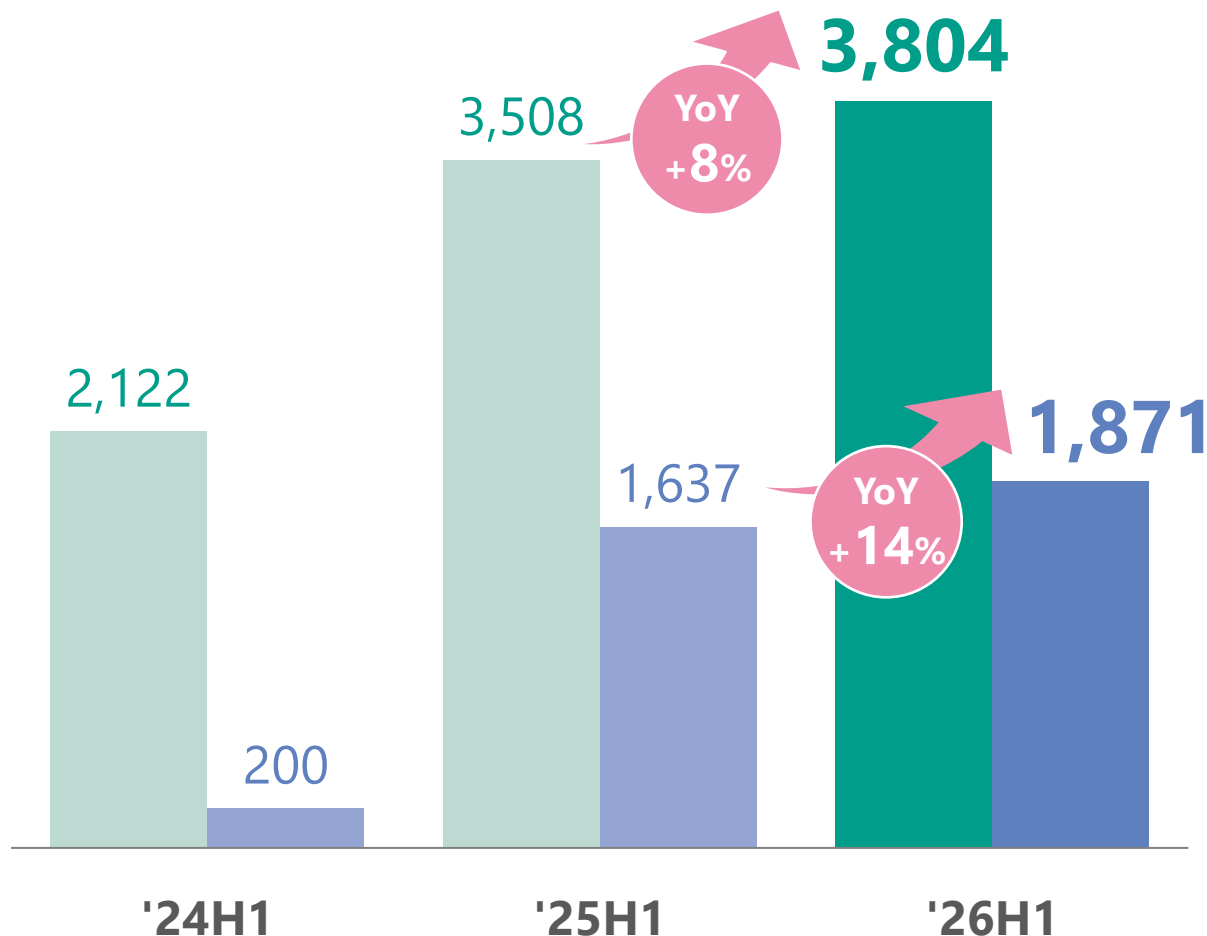
調整後EBITDA / 営業利益*1

(百万円)

■ 調整後EBITDA ■ 営業利益

2024年以降に構築した
黒字体質が定着

収益拡大ドライバーが、
コスト削減から
売上成長にシフト



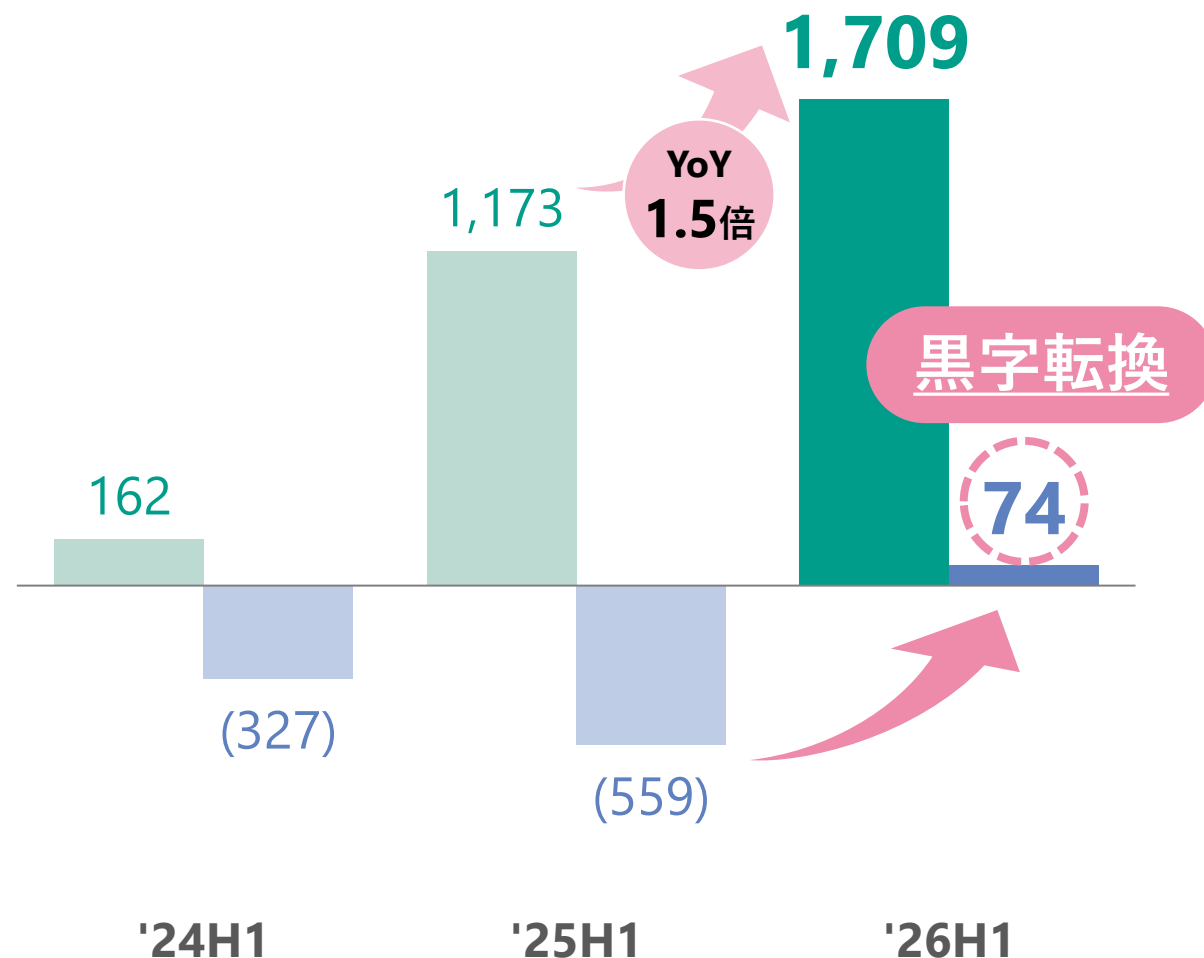
経常利益*1 / 当期純利益*1,2

(百万円)

■ 経常利益 ■ 当期純利益

当期純利益は
9事業年度ぶりに
上期黒字転換を達成

下期は成長投資を強化しつつ、
引き続き通期黒字転換を目指す

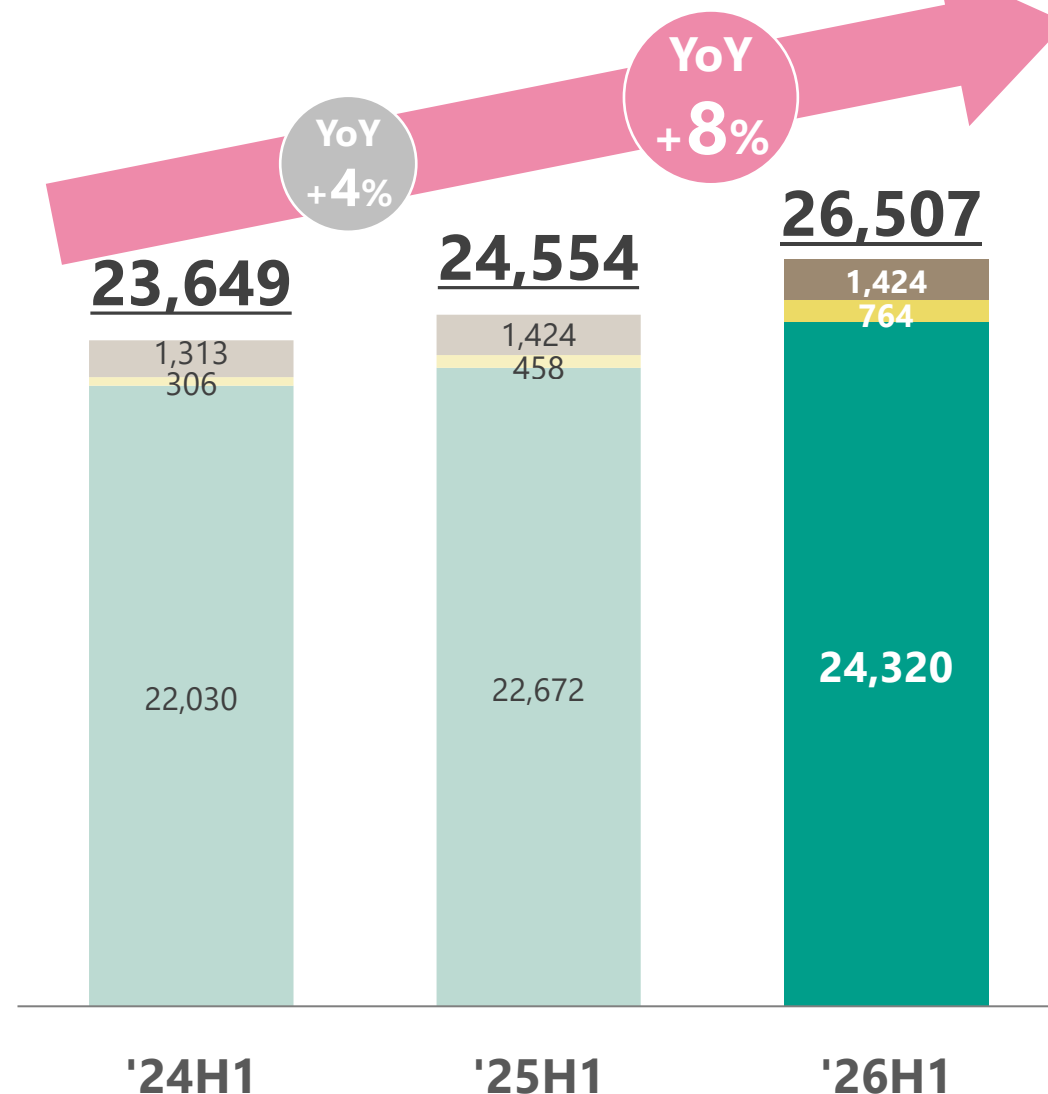


売上高

売上成長率は
+8%へ加速

ヘルスケア事業の
オーガニック成長が牽引、
計画を上回るペースで進捗

(百万円) ■ヘルスケア ■バイオ燃料 ■その他

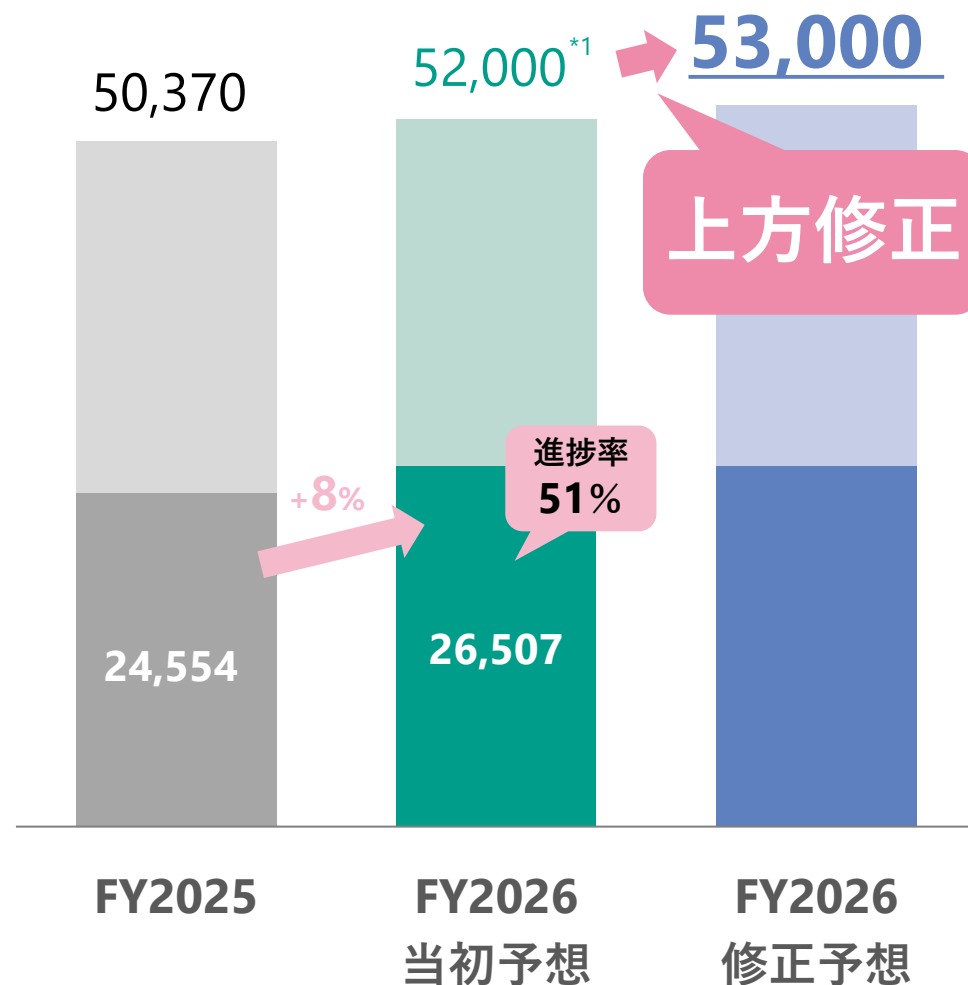


売上高業績予想の上方修正

計画を上回る進捗を踏まえ

売上高の通期予想を

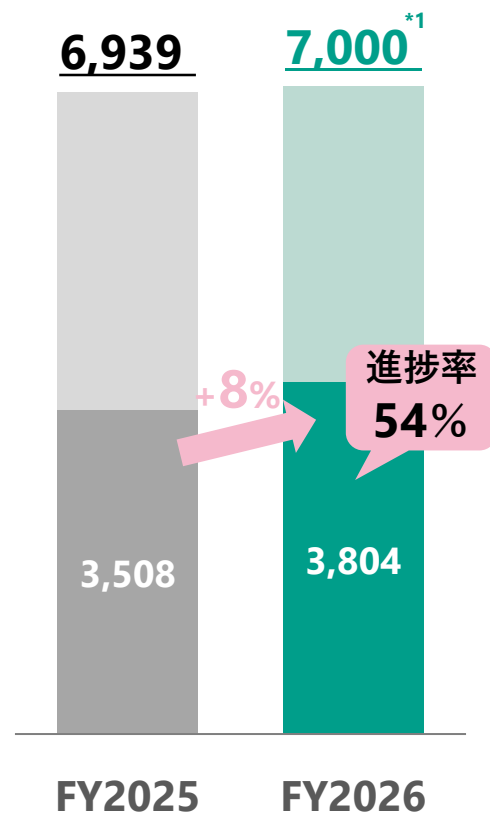
530億円へ上方修正



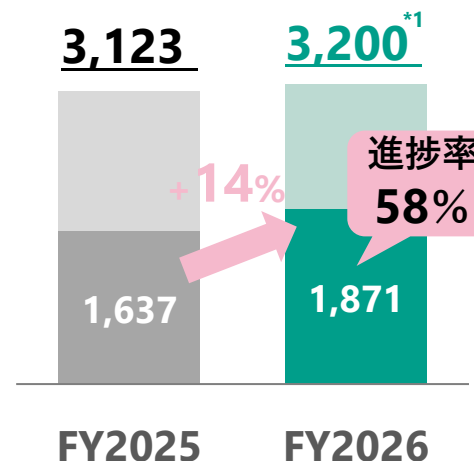
各利益業績予想は据え置き

中期的な
売上高成長に向け、
利益上振れ分は
成長投資に再配分

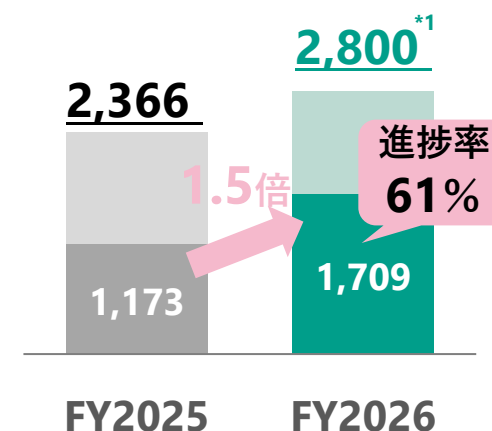
調整後 EBITDA



営業利益



経常利益



ヘルスケア事業

ヘルスケアは全グループ会社が成長

1 ユーグレナヘルスケアの オーガニック成長

1-グレナ[∞]

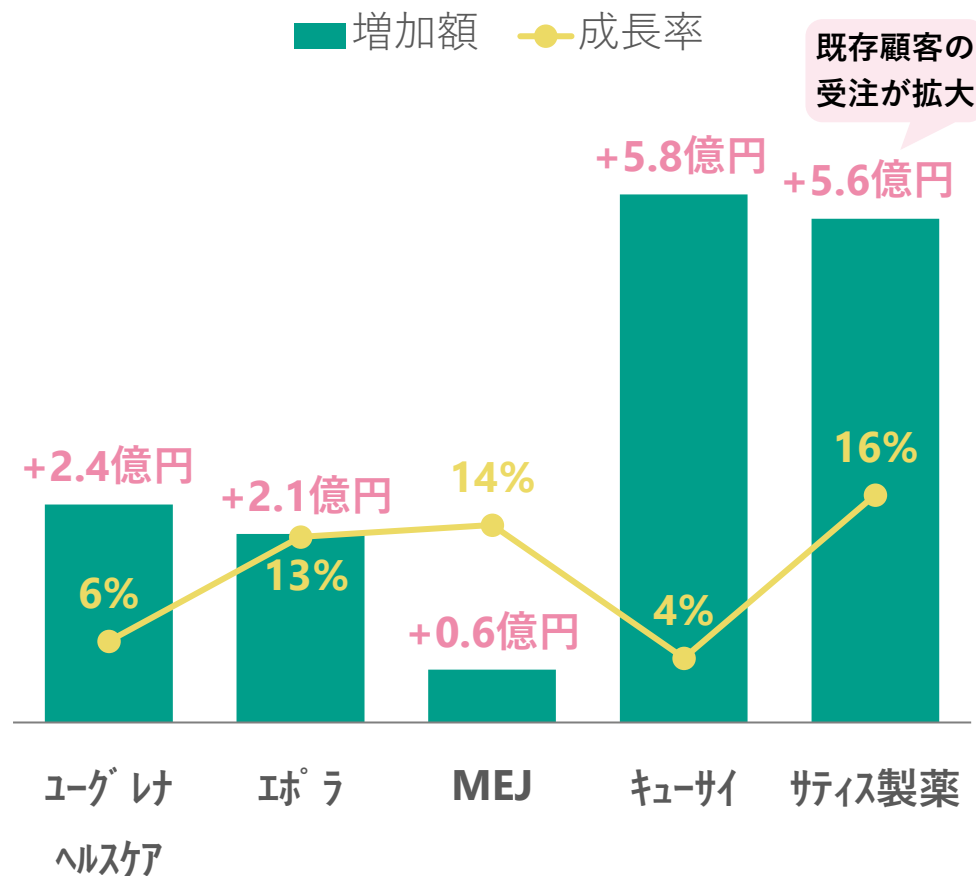


2 キューサイの マルチチャネル化

Q'SAI



上半期売上高YoY増減（会社別）

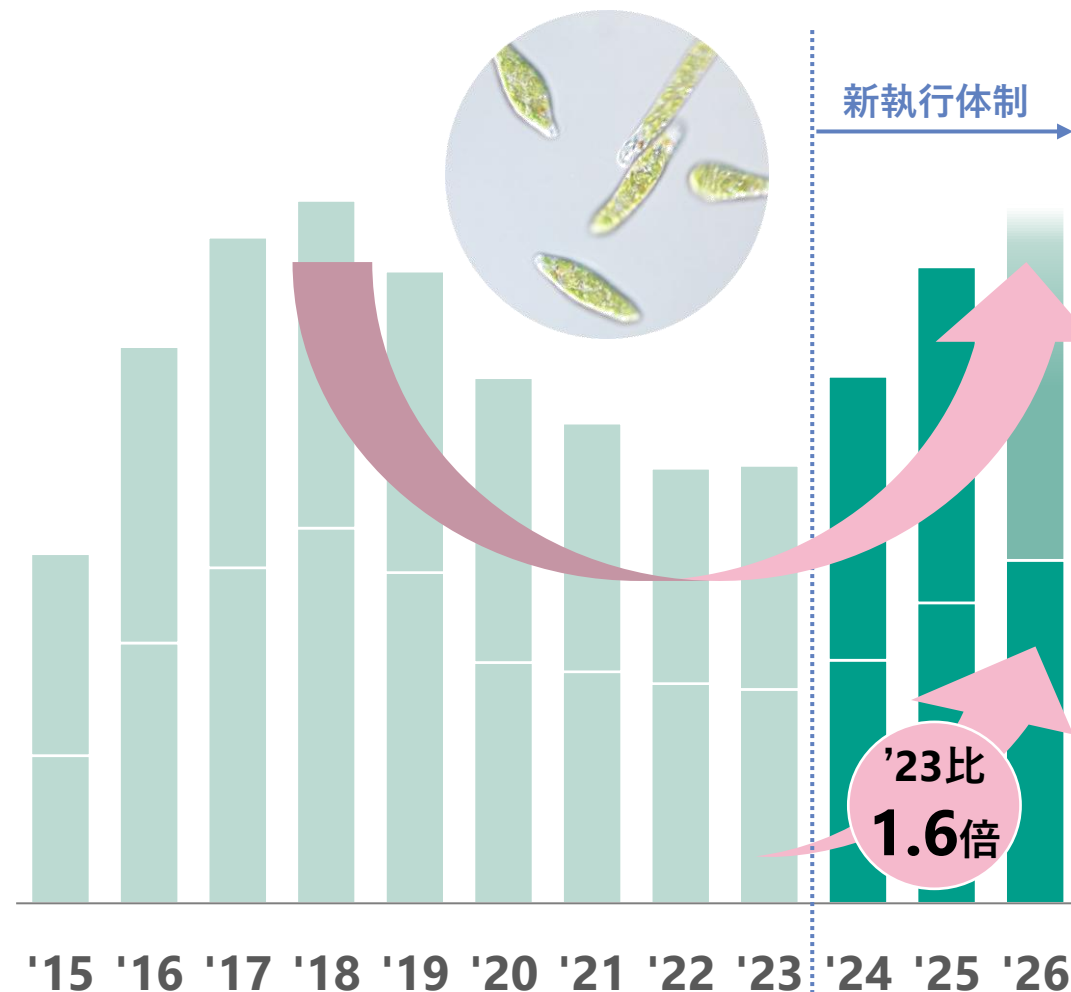


① ユーグレナ商品直販売上高*1

子育て世代向け商品
を起点に

V字回復を達成

新執行体制のもと、
過去最高水準を目指す



過去最高水準
を目指す

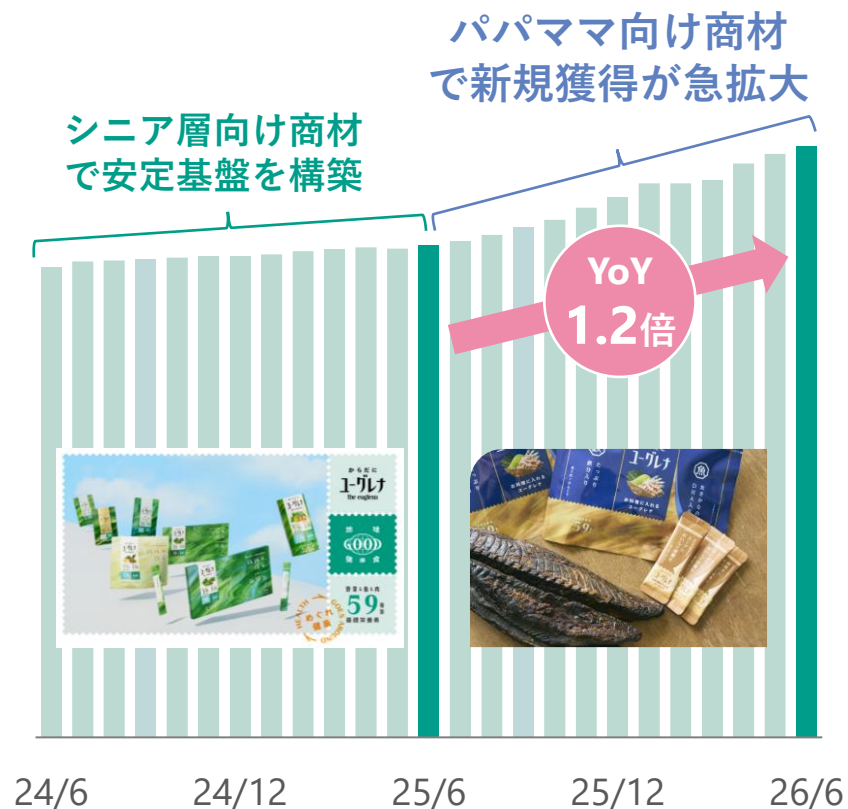
子育て世代
向け商品が急伸



① からだにユーグレナの勝ち筋

子育て世代向けの勝ち筋を、お出汁からドリンクへ横展開

からだにユーグレナの定期顧客数



子育て世代向け商材の成長



勝ち筋の再現性と接点拡大

ソリューション訴求広告の勝ち筋を
ドリンクへの横展開で再現

ECモールも新規接点として拡大

1 「金のユーグレナ」の事業承継

緑×金のユーグレナで「免疫」機能性を加えた素材提案へ進化

緑のユーグレナ

59種類の栄養素



機能性素材



金のユーグレナ

機能性素材

神鋼環境ソリューションの
機能性素材事業を承継
(2026年4月)



パラミロン*3高含有

1 「金のユーグレナ」の進捗

「金のユーグレナ」を使った自社商品の上市と原料販売を推進中

自社商品



免疫・
疲労感

代替商品を
下期に上市予定、
新商品も順次開発

導入事例



原料
販売

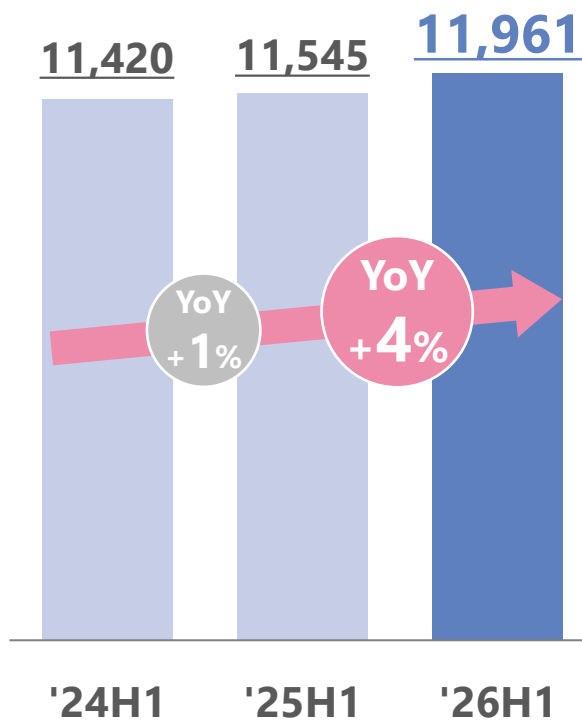
青木松風庵の
金の月化粧

2 キューサイ直販の成長

TV通販・ECモールの伸長に加え、購入単価向上で直販成長を加速

直販売上高

(百万円)



3つの成長要因

主力ブランドの
定期顧客数が
堅調に推移



コラリッチ

ECモール売上高は
2年間で約2倍
成長持続に向け新商品も投入



「cola・rich soar」新商品拡大

キャンペーンや
クロスセル等により、
購入単価が向上



ひざサポートコラーゲン



新ブランド「DAYLIS」立ち上げ

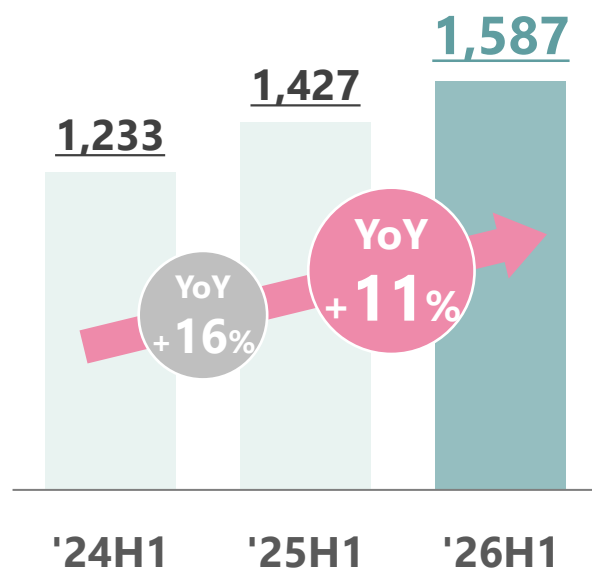
ブランド認知を活かした配荷拡大で、マルチチャネル化が進展

既存ブランド認知を活かし、

流通販路で売上機会を拡大

流通売上高

(百万円)



配荷店舗数*1
12,000超



バイオ燃料事業

供給能力の具体化 - マレーシア商業プラント

2028年度下期迄の稼働開始に向けて、建設工事は目に見える形で進捗



**PENGERANG
BIOREFINERY**
A Joint Venture of PETRONAS, Euglena and Enilive

(3社合弁会社)



1-グレ



PETRONAS



enilive

15%シェアで
約10万KL/年
の取り扱いが可能に

建設工事の工程



モジュール制作 2026年1月



建屋工事 2026年3月



タンク工事 2026年6月



建屋工事 2026年6月

稼働開始に向け、原料調達・建設・販売準備を継続的に推進

国内のSAF/HVO供給事例

電化が困難な液体燃料領域での需要が増加、継続利用も拡大

SAF



商業用ジェット機



政府専用機



航空自衛隊戦闘機

次世代バイオディーゼル燃料（HVO）



運輸・物流（バス・トラック、鉄道）



建設重機



船舶・商船



ボイラー（工場）

供給実績
130件以上

注：2018年10月～2024年1月まで稼働していた実証プラントで製造したSAF/HVOの供給、および2024年2月以降の輸入品の供給

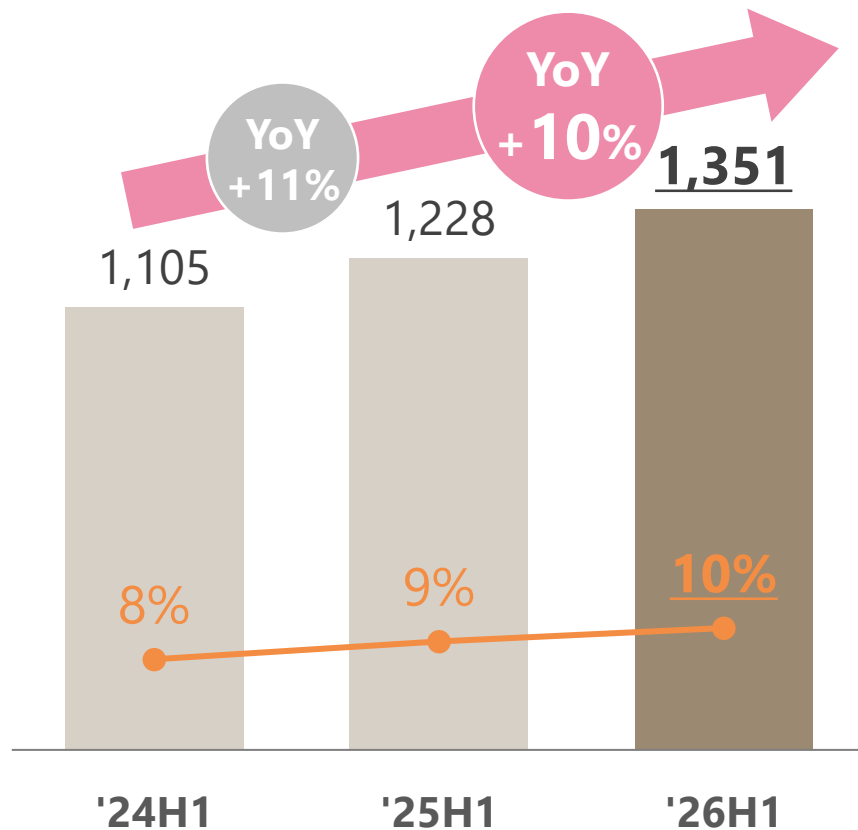
アグリ事業

2030年目標に向けた基盤強化

大協肥糧を中核にアグリ事業は売上・収益性ともに成長

アグリ業績*1

(百万円) ■売上高 —調整後EBITDAマージン



大協肥糧株式会社

大協肥糧が
売上・利益の
成長を牽引

藻類入り肥料の導入も拡大し、
売上成長に寄与



ユーグレナ入り肥料・飼料 - 消費者接点の拡大

「ユーグレナ育ち」認定製品が水産・畜産・農業分野で続々と登場

ユーグレナ育ち
認定数
10件超



イメージ写真

野菜：長野県等の直売所・スーパーで販売

【「ユーグレナ育ち」とは】

ユーグレナ入り飼料・肥料を使用して生産された農畜水産物を認定する制度



たまご：宮本養鶏場や自然恵みファームズから発売



「ぴかまる」が
まつえんどんから発売



「YESブリ」が
UTAKICHIから発売



「うなぎ」が
高正養魚から発売



クルマエビが
竹富えびから販売

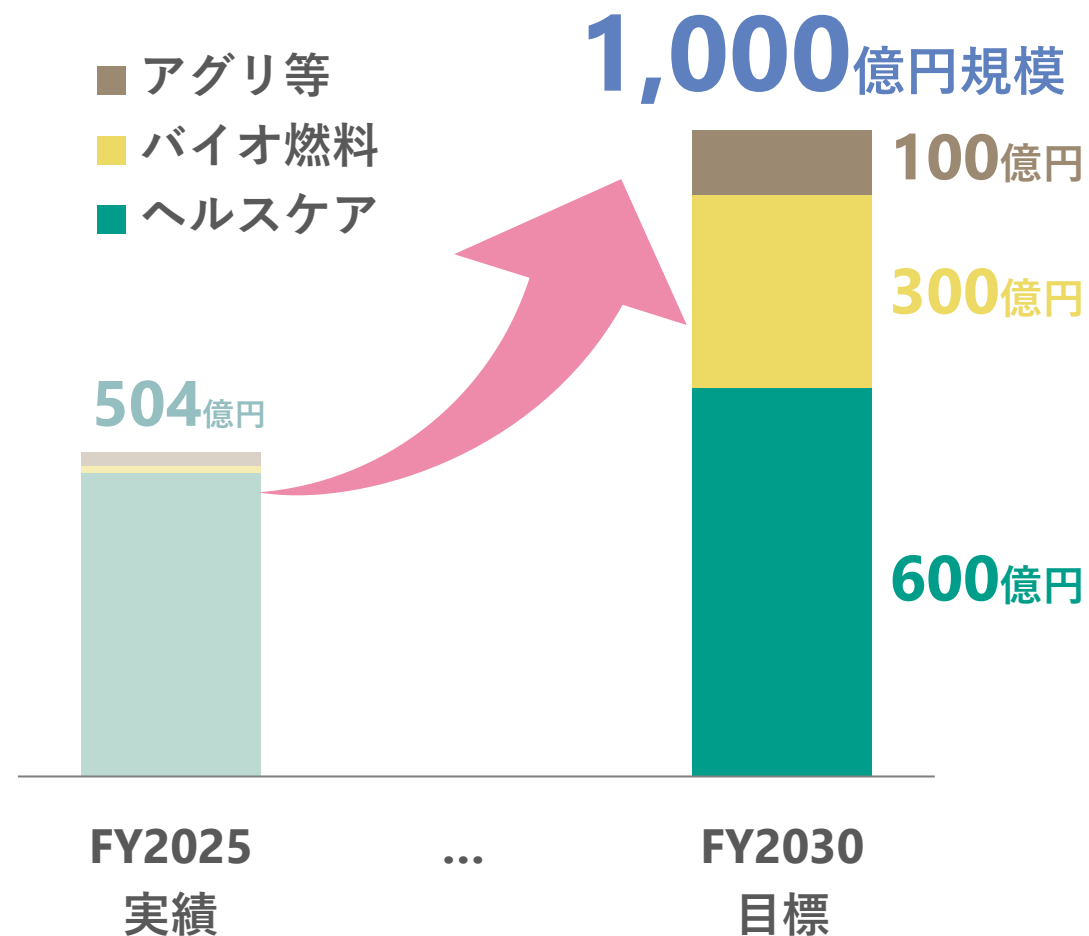
最後に：2030年目標

売上高

バイオ燃料商業プラント
の本格稼働により、
1,000億円規模
への飛躍を目指す

5年間で2倍！

売上高

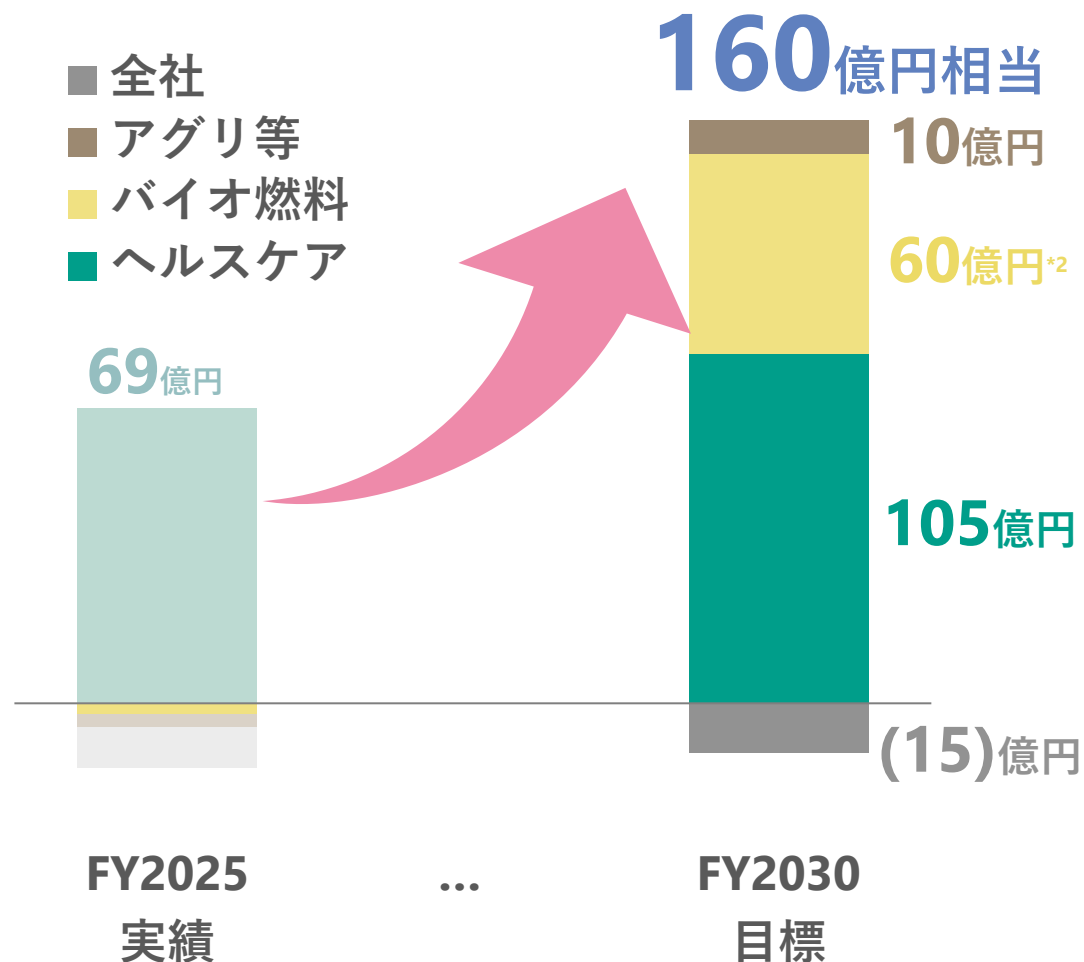


調整後EBITDA*1

ヘルスケアの成長と
バイオ燃料の商業化で
利益成長を加速

5年間で2.3倍！

調整後EBITDA



アンケートへのご回答お願い致します



<https://forms.cloud.microsoft/r/i7ExruYUdM?origin=IprLink>